



豊里

冬の蛍が豊里駅前にきらめく

「豊里駅前冬の蛍通り」(同実行委員会主催、及川正彦実行委員長)は12月1日から1月31日まで、陸前豊里駅前通りのイチョウ並木と産直がんばる館がイルミネーションで彩られます。点灯初日のセレモニーは中止しましたが、風物詩となった冬のホタルが通りにきらめき、地域子どもたちが「太陽と蛍」をテーマに描いたイラストのライトアップとともに往来する人たちの目を楽しませています。

大勢の来場者を楽しませたい

「チューリップ球根植え」(Y・Y主催、高嶋長悦代表取締役)は11月18日、道の駅米山西隣の圃場で実施され、関係者80人が1畝の畑にチューリップの球根を植えました。球根植えは、来春の「道の駅米山チューリップ祭」に向けた作業で、参加者は富山県入善町から購入した新品種30種4万球を含めた約60種10万球の球根を植えました。山崎準一郎駅長は「今回こそは大勢の来場者を迎え、一面を彩るチューリップを楽しんでほしい」と話しました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

花のあるまちで世代間が交流

「みやぎ花のあるまちコンクール表彰式」(県、すばらしいみやぎを創る協議会共催)は11月16日、ホテル白萩で開かれ、迫町の吐出地区が最優秀賞を、西館地区が審査員特別賞を受賞しました。吐出地区は住民が一体となって集落センターでの植栽に参加。地域のふれあいや子どもたちの情操を養う花育への取り組みなどが高く評価されました。西館地区は春と秋の花植えや作業後のお茶飲み会での交流が評価されました。



石越

家庭でできる防火策を再確認

「防火・救急救命講習会」(市婦人防火クラブ石越支部主催、高橋弘子支部長)は11月12日、石越総合支所で開かれ、同支部員20人が参加しました。講習会は消防署職員が講師となり、家庭での出火しやすい場面や出火時の初期対応、心肺蘇生法などの講話や消火器の使用方法を練習しました。高橋支部長は「救命処置の流れや、防火のために必要な事が再確認できて有意義な講習会になりました」と話しました。

旗を掲げ火災予防を呼び掛け

「火災予防街頭指導」(市婦人防火クラブ登米支部主催、後藤久美子支部長)は11月13日、登米町内の交差点で実施され、同支部員4人が参加しました。街頭指導は、火災予防の意識を高め地域から火災を無くすため毎月実施。支部員は、火災予防の旗を掲げ、歩行者やドライバーに火災予防を呼び掛けました。後藤支部長は「暖房器具の使用が増えてきました。皆さんが火の用心への意識を持ち、火災のない地域にしたい」と話しました。



登米

人と動物との関わり方を学ぶ

「西郷地区コミュニティ推進協議会研修会」(同協議会主催、千葉一則会長)は11月13日、南方農村労働福祉センターで開かれ、西郷地区から77人が参加しました。研修会は、『～人と動物の絆～「動物介在療法」』と題し、動物との関わり方やアニマルセラピーについて時代屋動物病院の佐藤砂登院長が講話。千葉会長は「動物が人にどのような影響をもたらし、動物がどんな役割を担っているのかなどがよく分かりました」と話しました。



南方

交通安全ゼロ継続を目指して

米谷地区の「交通事故死亡ゼロ千日表彰式」は11月19日、東和総合支所で開かれ、市交通安全対策協議会から褒状が送られました。米谷地域づくり推進協議会は2019年2月から交通事故死亡ゼロを継続し、11月17日で千日を達成しました。同協議会の秋葉茂雄会長は「これからも1500日、2千日と継続を目指したい。今後ご指導、ご協力をお願いします」と決意を新たにしていました。



東和



津山

炭作りの歴史と炭焼きを習う

「炭焼き体験」は11月12日、学校支援ボランティアで木炭職人の阿部政幸さんの炭焼き施設で開かれ、柳津小と横山小の5年生29人が参加しました。炭焼き体験は総合的な学習の一環として実施。児童は炭作りの歴史を聞いた後、実際にまきを割り、並べる作業を体験し、炭焼きや地元の歴史を学びました。児童たちからは「まきは大きくて重く、割るのも並べるのも大変でした」という声が上がりました。

笑顔で交流パークゴルフ大会

「第5回パークゴルフ大会」(上沼コミュニティ運営協議会主催、千葉博幸会長)は11月6日、北上川河川緑地公園パークゴルフ場で開かれ、65人が参加しました。大会は、地域資源の活用と交流機会を増やすことを目的とした、地域づくり「うわめま元気プロジェクト!」の一環として5年前から開催。整備されていない箇所もあるコースならではの楽しさと難しさに参加者は大奮闘。元気いっぱいプレーで腕を競い、親睦を深めました。



中田